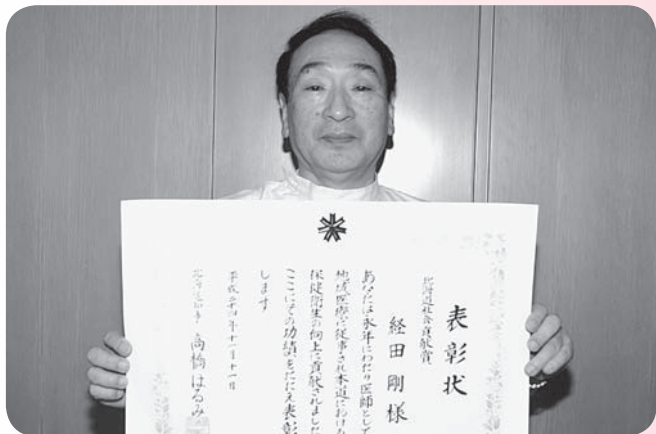


経田医師が 社会功労賞受賞

この度、地域の医療分野において多大な功績があったとして、本町で診療所を経営する経田剛医師が、北海道社会功労賞を受賞しました。

経田医師は、長年上ノ国診療所の所長として多くの診療をされるとともに、町が行う様々な検診などにも積極的な役割を果たされたほか、疾病予防などに関する取り組みを行い、地域医療の発展にご尽力されました。今回の受賞、誠におめでとうございます。



8才以下の子ども 達の汗光る！

11月4日、小学2年生以下を対象にサッカーにふれ合うことを目的とした第12回檜山ジュニアフットサルU-8大会（檜山サッカー協会主催）が乙部町において開催され、本町の子どもが多く所属するサッカークラブ「コラソンの」が出場しました。檜山管内で6チームが参加したこの大会ですが、コラソンのの児童達は、日頃の練習で培ったたくましさやテクニクを発揮し、参加したチームの中でひととき輝いたプレーを見せておりました。



俳句に込める、 ふるさとへの想い

11月11日、檜山各町の文化協会が主体となって毎年行われている檜山管内俳句大会がジョイじよぐらで開催されました。今年で27回目を数える大会で、今回の俳句は秋の季語「枯れ野」と定められたなか、各町の俳句愛好家から全部で42句が投句され、秋のふるさとなどを想う様々な句が生まれていました。



もしもあなたの隣で 誰かが倒れたら？

上ノ国町婦人防火クラブ（品田俊子会長）が、11月6日「AEDを用いた心肺蘇生法を学ぶ救急救命講習会」をジョイじよぐらで開催しました。

この日は、町内の婦人防火クラブ5支部から会員21名が参加し、上ノ国消防署員から心肺蘇生法やAEDの操作方法の指導を受けました。

冬は夏と比較すると心筋梗塞などの心肺機能に関わる疾病のリスクが5倍になるとの説明があり、参加された会員は身の回りでいつ何が起こるかわからないとの気構えで真剣に講習を受けていました。

